

みなみかぜ

令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

子育てで大事にしたいこと

アメリカの有名な教育学者のドロシー・ロー・ノルトは、以下のようなことを語っています。

「子ども」

ドロシー・ロー・ノルト

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる

殴られて大きくなった子どもは、力にたよることをおぼえる

笑いものにされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる

皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心のもちぬしとなる

しかし、激励を受けた子どもは、自信をおぼえる

寛容にであった子どもは、忍耐をおぼえる

賞賛を受けた子どもは、評価することをおぼえる

フェアプレーを経験した子どもは、公正をおぼえる

友情を知る子どもは、親切をおぼえる

安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる

可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じとることをおぼえる



子育ての場合、こうしたらこうなるといった正解があるのではなく、上の子には当てはまったやり方が、下の子にはあてまらなかったりすることがあります。一人一人に応じたやり方を考え、実行していく必要があります。

しかも、それを1日、2日やったからといって、すぐに効果が出るものでもありません。何年後、時には何十年後に成果としてあらわれることもあります。

だからこそ、何を大切に子どもに接していくのかが重要なのだと思います。時には、上記のようなことを子どもと話してみるのもいいのではと思います。